



綿っ子通信



令和8年2月4日発行 第14号

2月4日(水) 全校集会 立春と節分 鬼はどこにいる？

今日は何の日か知っていますか？今日は「立春」という日です。「立春」は、1年を24個に分けて考える二十四節気の一つで、暦の上では「春が始まる日」とされています。昔は、「新しい一年の始まり」を表す日として、お正月と同じくらい特別な日でした。

そして、立春の前の日は季節を分ける日なので「節分」といいます。「節分」は、昔の人にとっては、お正月の前の日と同じですから、まるで大晦日のように「1年の締めくくり」の日として大切な日だったそうです。

昨日の「節分」の日に豆をまいたという人も多いのではないかでしょうか。節分に豆をまくという風習は、気持ちよく新しい年、新しい季節が迎えられるために、悪い気（魔）を追い払う（滅する）ためだといわれています。豆まきは、一見楽しい行事のように感じますが、実は、新しい年、新しい季節を気持ちよく迎えるための準備だったのです。

「鬼は外、福は内！」 こんなかけ声とともに、豆まきをした人もいるでしょう。



この「鬼」はどこにいるのでしょうか？山の中でしょうか？それとも、怖いお話の中でしょうか？実は、**鬼は「みんなの心の中」にいます**。校長先生の心の中にも、実はこっそり隠れています。

例えば、朝、寒くて布団から出たくないなあという「なまけ鬼」。

すぐにカッとなって怒ったり文句を言ったりする「怒りんぼ鬼」

自分さえよければいいんだ やりたいことしかしない「わがまま鬼」。

自分じゃなくて、友達や先生のせいにしてばかりの「いいわけ鬼」

もういいや、できっこない、ムリ～とすぐに諦めてしまう「弱虫鬼」。

他にもいろんな鬼がみんなの心の中にいるはずです。鬼がいない人なんていません。

節分の豆まきには、そんな自分の心の中にいる「悪い鬼」を追い出して、新しい自分に生まれ変わるという意味があります。昨日、豆まきをしなかった人でも、豆まきはいつでも心の中でできます。そして「立春」である今日からは新しい自分として生活をしていきましょう。

心の鬼を退治できれば、代わりに「福は内」つまり「幸せ」や「強さ」がみなさんの体の中に入ってきます。本当の幸せは自分だけが幸せになるのではなくて、人が幸せになることを感じたときにやってきます。人の強さとは、何かで人と比べたときの強さではなく、自分の弱さを知りそれをよりよい方へと直すことができるこだと思います。



4月からは、一つ上の学年に上がりますね。その前に、自分の心の鬼をしっかりと退治して、進級、進学する準備をするのが0学期（3学期）にすることです。みんなで頑張りましょう。

3～6年 書き初めをしました

3～6年生は、体育館でそれぞれ書き初めを行いました。学年ごとに書く文字は違いますが、みんな真剣に、集中して取り組んでいました。授業参観の際には、各学年の廊下に掲示されますので、ぜひご覧になってください。

3年：明るい心 4年：春を待つ 5年：強い決意 6年：夢を語ろう



1月はたくさんの行事がありました。学校ホームページにて、行事や授業の様子をお伝えしております。どうぞご覧ください。

